

Armonia Plus バージョン 2.8.1.73 リリースノート

June, 2025 年リリース

株式会社オーディオブレインズ
2025 年 06 月吉日

イントロダクション

このドキュメントでは、Armonia Plus2.8.1 についての追加機能について説明します。
Armonia Plus2.8 では、ワークフローを一新し大規模なシステム構成をより簡易的に設計できるようなデザインにしました。

これらの更新によりシステムの可視性が向上し、操作がより効率的で直感的になりました。

新機能

- ・「Show」ステップの削除

ショーステップが削除され、Tune(チューニング)ステップに機能統合されました。

- ・アンプのリストに新モデルが追加

Unica T シリーズ[Unica 4T 20K4,Unica 8T 10K8]

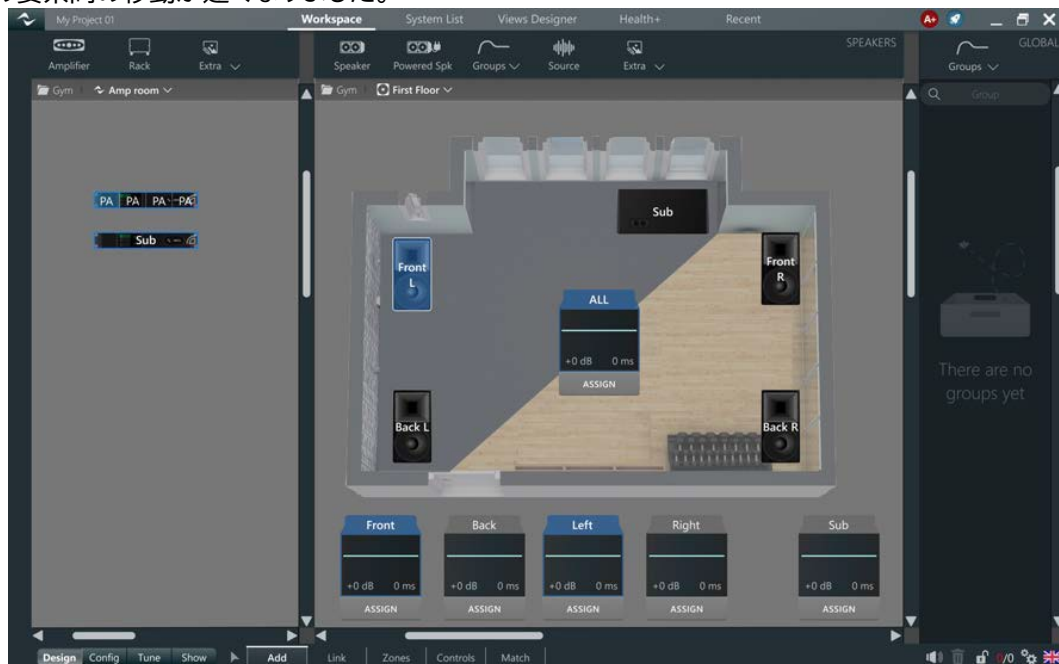
Opera シリーズ[Nota142]

DC Rider シリーズ[DC Rider 408,DC Rider 8016]

- ・グループの視覚化性が向上

スピーカー(アウトプット)がどのグループに割り当てられているかを、スピーカーを選択することで簡単に識別できるようになりました。

スピーカーを選択すると、関連するグループ名が青で強調表示されるため、関連するグループの確認やシステム内の要素間の移動が速くなりました。



- ・EQ 画面の操作性が向上

スピーカーをダブルクリックするか、チャンネルストリップのファンクションの EQ ボタンからアクセスできる Advanced EQ ページでは、各スピーカーの構成についてより詳細な情報が得られるようになりました。

Advanced EQ ページへ追加された情報:

- ・スピーカー名、モデル名、アプリケーション名
※Manufactur EQ を有効にしていた場合、その名前
- ・スピーカーがアサインされたグループのタブ

スピーカーに EQ を追加すると対応するタブに EQ の合計数を示すバッジが表示されるようになりました。これによりグループで変更された EQ を簡単に追跡およびナビゲートできるようになりました。

また、グループタブに移動し右上のエディットボタンをクリックすることで、グループの EQ ビューにリダイレクトされ、多くの手順を踏まなくても EQ の調整ができるようになりました。



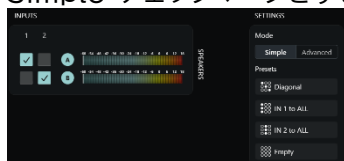
また、各 EQ 画面にパターン保持の機能が追加されました。

ユーザーは任意の EQ 設定を2パターン[A/B]保持でき、それをボタン操作によって素早く切り替えることが可能になりました。

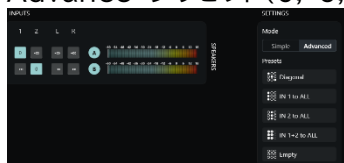
- ・マトリクスページのデザイン変更

アンプの内部設定画面のマトリクスページのデザインが刷新されました。

Simple:チェックマークをするだけで設定を完了することができます。



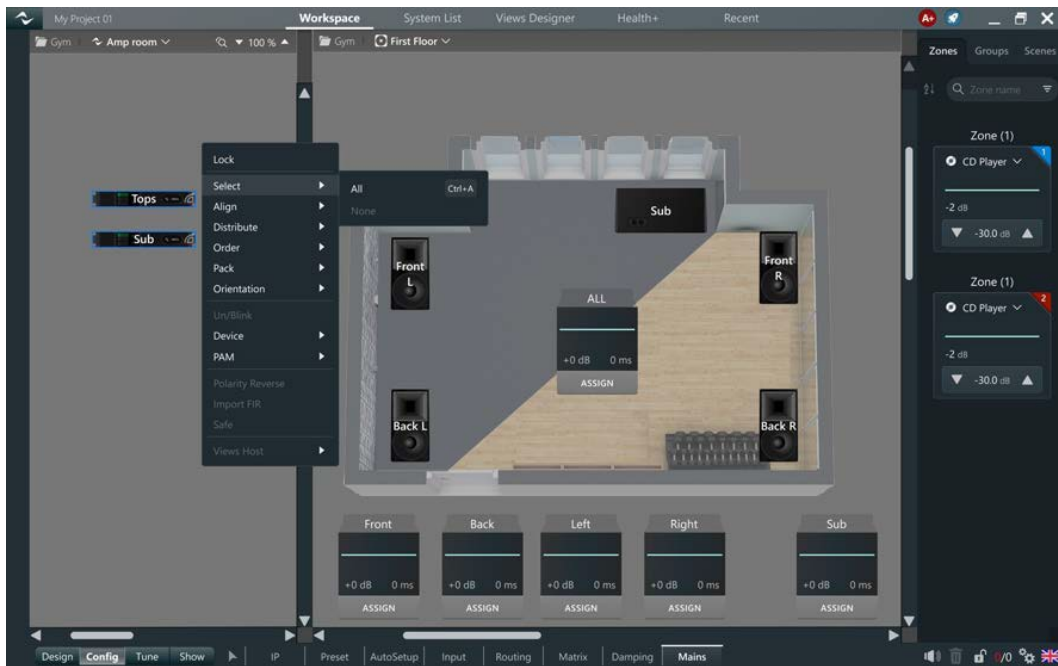
Advance:プリセット(0,-6,-∞)から選択するか、任意の数値を入力することができます。



・デバイス選択の改善

右クリックのサブメニューを使用して、ワークスペース内のすべてのデバイスをすばやく選択または選択解除できるようになりました。

- ・デバイスを右クリック > 選択(Select) > All (すべてのデバイスが青色にハイライトされます)
- ・デバイスを右クリック > 選択(Select) > None (選択を解除します)

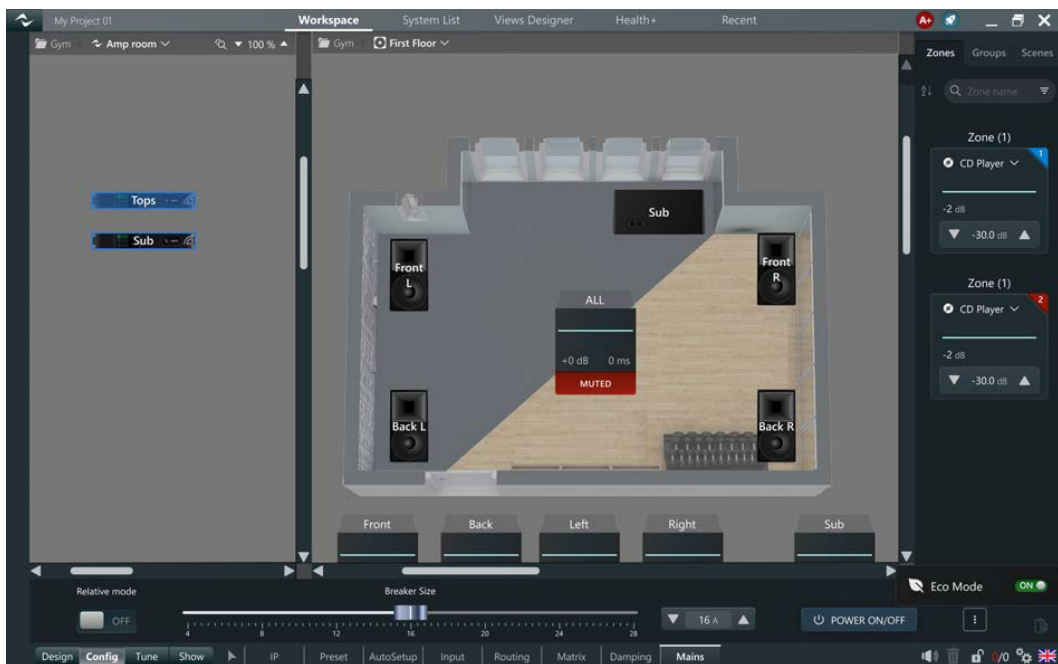


・電源管理の改善

ワークスペース経由での主電源の管理がより簡単になりました。

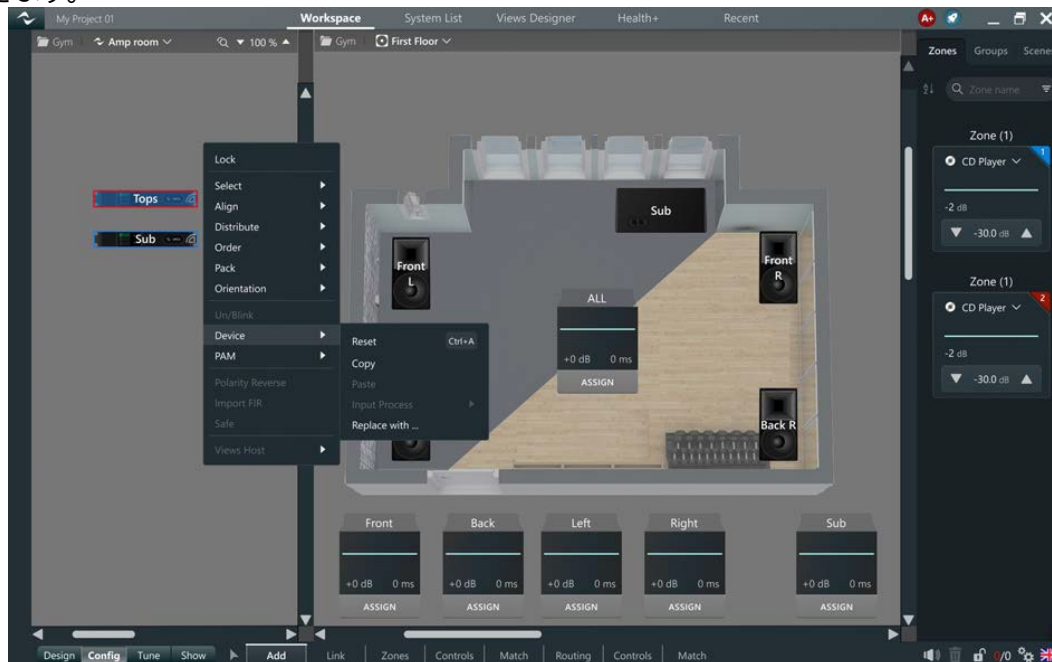
「コンフィグ > メイン」ファンクションが前項で記述したデバイスの選択機能とシームレスに連携し、ユーザーは次の操作を実行できるようになりました。

- ・デバイスのオン/オフ
- ・エコモードの管理



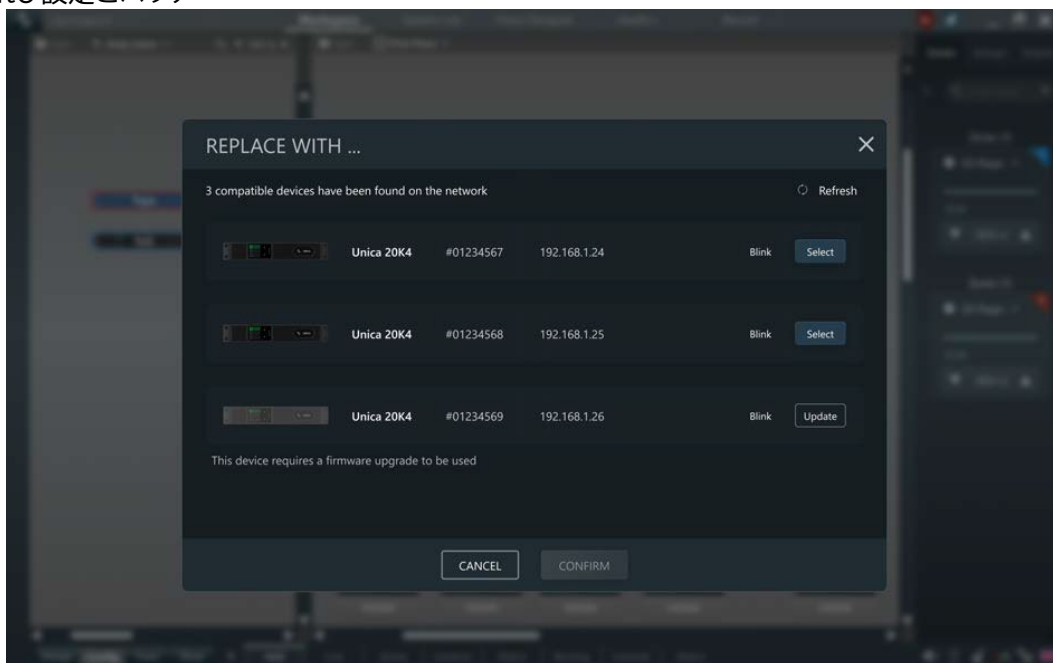
・「REPLACE WITH」機能の追加

REPLACE WITH を使用することで、スムーズに故障したデバイスを新しいデバイスと置き換えできるようになりました。この機能は、ワークスペースの右クリック メニューから [デバイス] > [置換] を選択してアクセスできます。



REPLACE WITH 機能を使いデバイスを交換すると、自動的に以下のデータを引継ぎます。

- REPLACE WITH 機能実行直前の DSP 構成
- ネットワーク設定
- Dante 設定とパッチ



使用上の注意点:

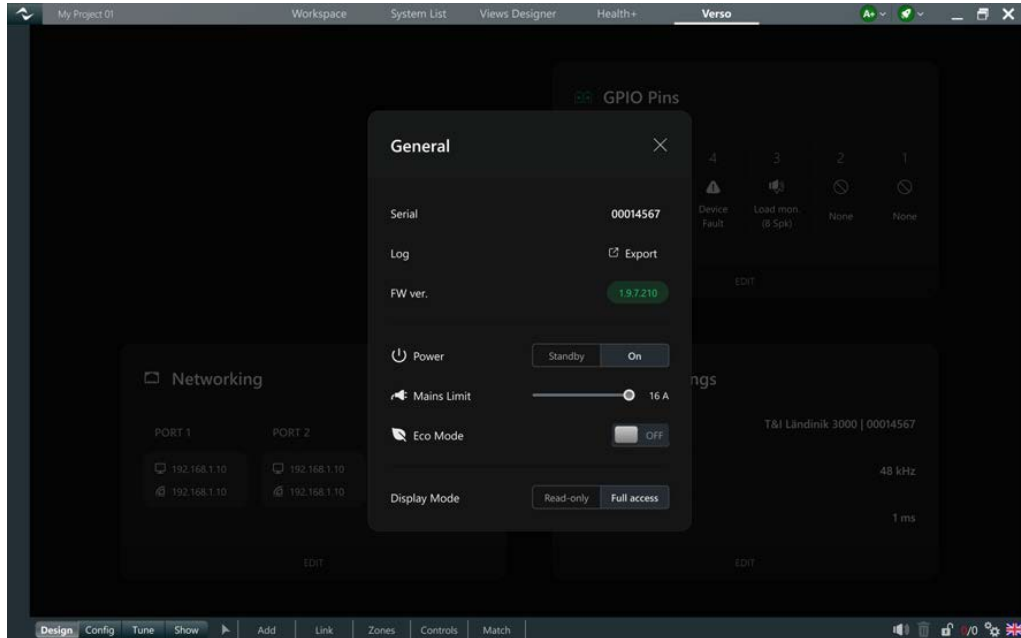
- アンプのバッテリーを防ぐため、交換前に交換をしたいデバイスをオフラインにする必要があります。
- 適切なパラメータの割り当てを確保するため交換前後のアンプはモデルを一致させる必要があります。
- 交換が完了したら元のデバイスをネットワークに再接続しないでください。

・Unica のディスプレイ読み取り専用モードの追加

常時運用のシステムのセキュリティを強化するために Unica のディスプレイ読み取り専用モードが追加されました。読み取り専用モードを有効にすると、チャンネルのミュート/ミュート解除などの操作を制限できるようになります。

モードの変更は以下のメニューから有効にできます。

- ・ワークスペースでアンプを右クリック > デバイス > ディスプレイ モード
- ・ワークスペースでアンプをダブルクリック > アンプの詳細画面のオプション > 一般設定



・プリセツファンクションの機能拡張

プリセットの選択がより直感的になりました。

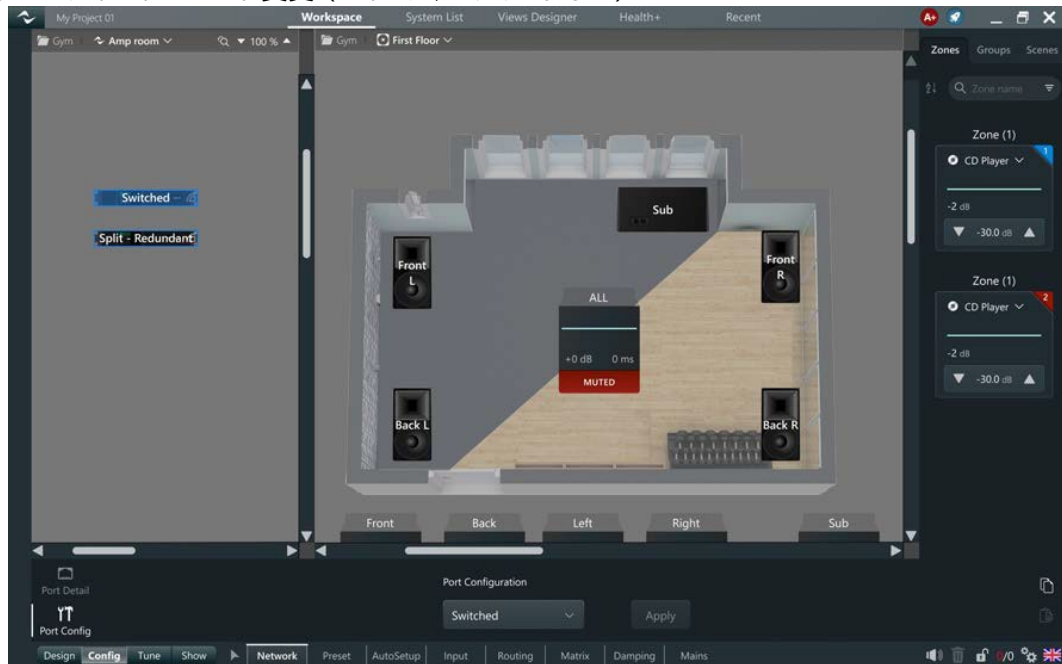
- ・スピーカーのアプリケーション名がワークスペース上でも表示され割り当てを確認しやすくなりました。
- ・スピーカーの上にマウスを移動したときに、アプリケーション名に関する詳細情報が表示されます。
- ・スピーカーモデルが異なる場合でも、複数のスピーカーを選択しアプリケーションと Manufacture EQ を制御できるようになりました。(アプリケーションと Manufacture EQ が同じオプションを共有している場合に限る)



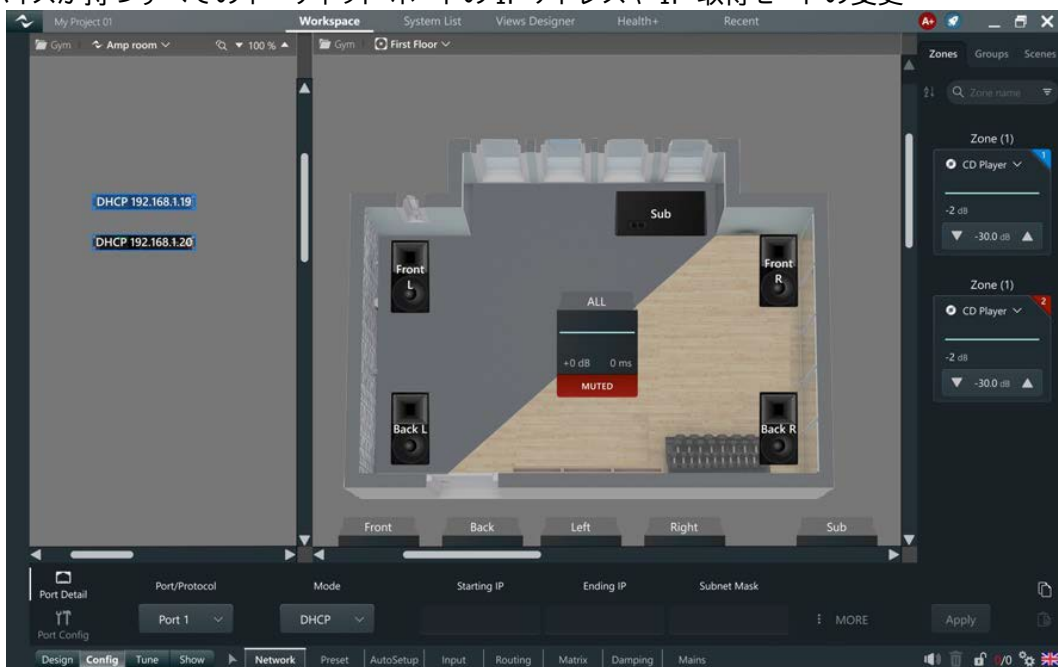
- NETWORK ファンクションの機能拡張

IP ファンクションはより幅広い機能を反映して Network に名前が変更されました。
複数のデバイスのネットワーク設定をより構成できるようになりました。

- ネットワークポートのモード変更 (スイッチ、スプリットなど)



- デバイスが持つすべてのイーサネット ポートの IP アドレスや IP 取得モードの変更



- ・チャンネルストリップ ファンクションの追加

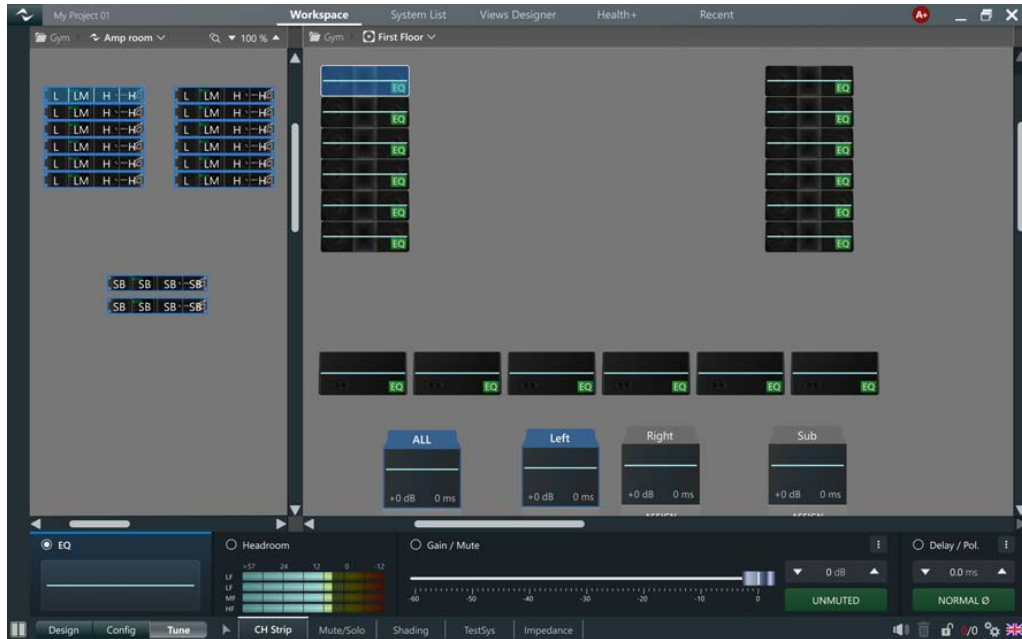
ワークスペースのチューニング ステップで大幅な機能強化が利用できるようになりました。

チャンネルストリップ ファンクションでは複数の機能が 1 つのインターフェイスに統合されました。

チャンネルストリップ ファンクションでは、次のものが統合されます。

- ・EQ 調整
- ・ヘッドルームの視覚化
- ・ゲイン、ミュート、ディレイ、極性コントロール

これによりワークフローが簡素化され、より高速で直感的な調整が可能になります。

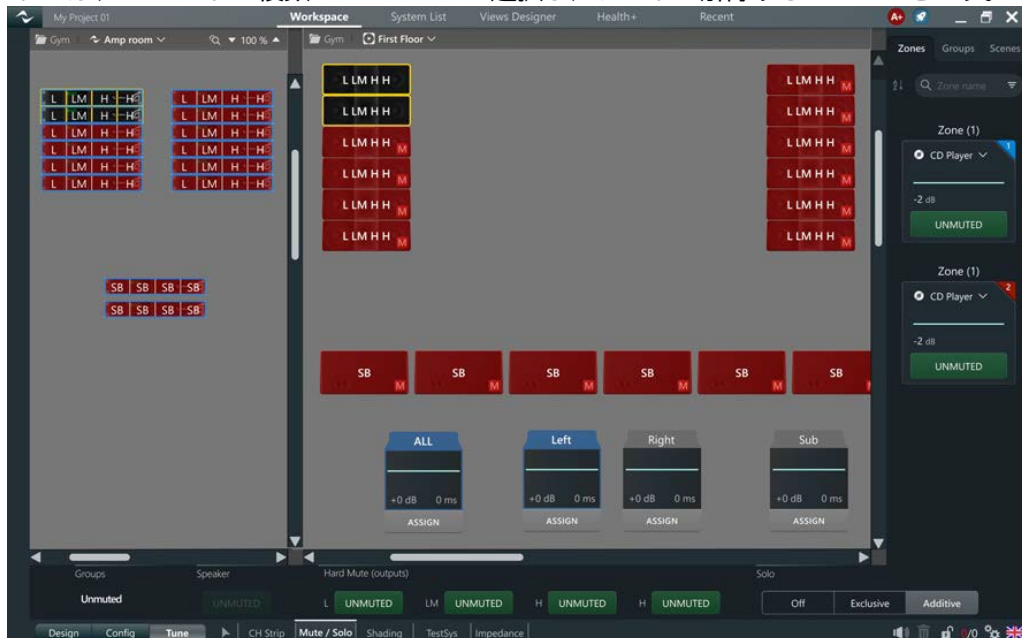


- ・MUTE/SOLO ファンクションの追加

別々にあったミュートとソロのファンクションは、Mute/Solo ファンクションに統合されました。

Exclusive(排他)モードと Additive(追加)モードを導入することでソロ機能が強化されています。

- ・排他モードでは以前の動作が維持され、一度にミュート解除できるスピーカーは 1 つだけです。
- ・追加モードでは、ソロモードで複数のスピーカーを選択し、ミュートを解除することができます。



バグの修正

- *混雑したネットワークでの通信プロトコルの安定性を高める修正がされました。
- *多数のフィルターを含む EQ レイヤーをインポートすると、稀にフィルターパラメータが正しく適用されないことがある問題を修正しました。
- *すべてのワークスペースページで、スピーカーのミュート状態が正しく表示されるようになりました。
- *何も選択されていない場合でも、ミュート/ソロのラバーバンドが正しく表示されるようになりました。
- *Config > Mains ページで、スタンバイ状態が明確に表示されるようになりました。
- *軽微なバグの修正とパフォーマンスの一部が改善・追加されました。

リリースにバンドルされているファームウェア

- * Unica T シリーズ: 1.20.0 (NEW)
- * Unica シリーズ: 1.12.0
- * Mezzo シリーズ: 1.6.1 (New)
- * T シリーズ: 1.12.0
- * X シリーズ: 1.12.0
- * X4 L: 1.12.0
- * Ottocanali, Quattrocanali, Duecanali DSP + D: 1.12.0
- * Quattrocanali: 2.0.2
- * Dsp4: 1.6.28
- * IPAL, MDrive: 1.8.6
- * WM Touch: 1.3.1
- * PC ViewsHost: 3.0
- * Verso: 1.0.0

※最新のファームウェアはアンプ検出時にインターネット経由でダウンロードされます。
そのため、ソフトウェア起動中は常にインターネットの接続をすることを推奨いたします。

※新しいファームウェアは以前の Armonia Plus と通信できない可能性があることに注意してください。
最新のファームウェアの詳細は Powersoft 本国サイトをご参照ください。
<https://www.powersoft.com/en/download/firmware/>